

青森駅周辺整備推進事業の速やかな実施を求める決議修正案

議員提出議案第18号 青森駅周辺整備推進事業の速やかな実施を求める決議の一部を次のように修正する。

題名を次のように改める。

青森駅周辺整備推進事業の速やかな適切な実施を求める決議

本文を次のように改める。

青森駅周辺整備推進事業は、平成24年2月に策定した「青森駅を中心としたまちづくり基本計画」に基づき進められている事業であり、かつ、平成24年3月に国から認定を受けた第2期青森市中心市街地活性化基本計画においても核的事業として位置づけられている。

本事業は、青森市が進めているコンパクトシティの形成を推進し、中心市街地の活性化を図る上で非常に重要な事業であるが、目に見える進展がないことを強く懸念した青森市議会は、平成26年6月24日に「青森駅周辺整備推進事業を計画どおり実行するよう求める決議」を可決した。

その後、都市機能を除いた自由通路及び駅舎並びに西口交通結節機能の整備を先行実施することについて、市、東日本旅客鉄道株式会社及び青森県との調整が図られ、平成26年第3回定例会において、その基本設計等に要する経費を措置するための補正予算が可決されたところである。

事業の推移を見守る中、市は、概算事業費が当初計画の約81億円から約1.5倍の約123億円になることを理由に、青森駅周辺整備推進事業をおおむね2年間中断するという方針を4月30日に発表し、青森市議会のみならず、経済界や一般市民にも波紋が広がっている。

~~市は、中断の理由を事業費の増大としているが、当該事業費に係る一般財源の議論がなおざりにされている。~~

一方、青森駅前地区では、青森グランドホテルの営業終了やサンフレンドビルの競売など暗い話題が続き、アウガについては、青森駅前再開発ビル株式会社が平成26年6月に策定した第2次再生計画が初年度で事実上破綻するという状況の中、まちづくりの進展に危機感を抱いた青森商工会議所は、市長に対し青森駅周辺整備推進に関する緊急要望を行い、また、報道によれば、地元民間放送局が実施したアンケートでは、約6割の市民が青森駅整備の推進を望んでいるとの結果が出ているところである行ったところである。

青森駅前地区は、本市はもとより県都の顔としてふさわしい姿を形成する必要がある、今こそ、官民挙げて英知を結集し、課題を乗り越え、本市経済活性化のために速やかに適切に青森駅周辺整備推進事業を進め、青森市全体のまちづくりを見据えた整備を行わなければならない。

したがって、市に対し、東日本旅客鉄道株式会社とさらに十分な協議を重ね、財源確保のしっかりした見通しに立った上で、関係者と協力・連携しながら、青森駅周辺整備推進

~~事業を中断することなく速やかに実施することの~~適切な実施を強く求める。

以上、決議する。

平成 27 年 6 月 23 日

青 森 市 議 会